

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

第21回 中西部部会



日時 2017年9月23日(土) 13:00~16:00
(受付は12:30から)

会場 ホテルグランヴィア大阪

大阪市北区梅田3丁目1-1 ※ホテルはJR大阪駅構内に直結。中央口を出て右手すぐ

会費 10,000円

Program

第1部 式典

第2部 講演 「平和の使者『青い目の人形』」 ～90歳を迎えた人形を訪ねて～

講演者 山田 真知子さん



神戸女学院大学英文科を卒業と同時に神戸の「海見える放送局」ラジオ関西にアナウンサーとして入社。電話リクエスト、トーク番組、報道番組など幅広いジャンルの番組を担当。人間的な触れ合いをもてるインタビューを得意とした。退職後はフリーとして式典などの司会・進行、話し方の指導、講演、プロダクションの講師などを務める。特に「美しい話し言葉」にこだわり、生き生きと魅力的な話し方をめざすワークショップを開いている。

第3部 アトラクション バックウッズマウンテニアーズによる演奏 懇親会 アピールタイムは、部会参加申込時に事前申し込みをしてください。

青い目の人形たちのとの再会

昭和2年(1927年)、次第に悪化して行く日米関係を改善しようと、宣教師のシドニー・ギューリックは日本の子供たちに人形を贈ることを思いつきました。全米の教会や民間の組織に呼びかけ、12,739体もの「青い目の人形達」が雛祭りに合わせて日本全国の幼稚園や小学校に贈られました。

その年のクリスマスには日本から58体の振袖を着た日本人形が「答礼人形」としてアメリカ各州に贈られました。どちらも民間人が両国の友好と親善を願って、友情のしるしとして心を込めて交換した人形たちです。

だが、その後太平洋戦争が起こり、青い目の人形達は過酷な運命をたどります。敵国のスパイと呼ばれ、日本中の数多くの人形達が槍で突かれ、捨てられ、焼却処分されてしまったのです。

しかし、贈られた大切な人形を思い、必死の思いで守り抜いた人たちが日本各地にいました。その人たちのお蔭で、現在日本に360体あまりの人形たちが残存し、そのうち兵庫県には11体の人形が残っています。番組制作のためにこの人形たちを訪ねて取材し、戦禍を潜り抜けた“今年90歳を迎える”あどけない人形たちが我々に伝えるものを考えていきたいと思います。



ホスト：大阪センテニアルワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

第21回 中西部部会

参加申込書

FAX 06-6411-6422

Eメール nakamura-sl6@asahi.com

クラブ名

申込責任者

連絡先

番号	役 職	名 前
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

〈振込先〉

☐ ゆうちょ銀行から

☐ 他の金融機関から

記号14010 番号68838781

ゆうちょ銀行四〇八支店

口座名 ホウザオリン

(普通) 6883878

※参加費用 10,000円× 名 合計 円

※申込締切 2017年9月10日(クラブ単位でお願いします)

※用紙が不足した場合はコピーをお願いします。

問い合わせ/申込先

中西部書記 中村茂高

電話 070-5438-5023(携帯) Eメール nakamura-sl6@asahi.com

FAX 06-6411-6422(大村肇・中西部部長宛)